

【編集元】民主党三重第2区総支部 衆議院議員中川正春事務所
三重／〒513-0013 鈴鹿市国分町 453-7
東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 428号室

E-mail: g03063@shugiin.go.jp
TEL: 059-373-3933 / FAX: 059-374-3088
TEL: 03-3508-7128 / FAX: 03-3508-3428

○ブッシュ大統領にすぎる福田総理

国会の状況は、混迷を深めてきました。16日には福田総理が訪米します。ブッシュ大統領には、「国会を延長して、自衛隊が引き続きインド洋で給油活動ができるように努力をしている。」と説明するのだろうと思います。一方で、ブッシュ大統領の口から、「日本の自衛隊の給油活動は、とても大事な国際貢献で、世界が感謝している。」という言葉が直接引き出す。「アメリカがここまで言っているにも関わらず、それに反対する民主党は、間違っている。日米関係が壊れてもいいのか。」という世論を日本国内で高めたいという計算です。

日米関係は、こんなことでは崩れません。多くのアメリカの政治家や識者にとっては、日本が国内事情で給油活動を打ち切ることなんて取るに足らない話だということが私の友人の多くの話からも確認できています。さらに、アメリカ国内では、ブッシュの中東政策に反対する勢力が圧倒的な世論を形成し始めています。だから、中東の複雑な社会情勢からテロを醸成することのない国づくりに、日本が貢献するとすれば、どのような手段が一番いいのか、私たちも、ここで少し落ち着いた形で議論することが必要なのです。

○法案山積みの参議院

一方、参議院では、年金保険料流用禁止法案、農業の戸別所得補償法案や高齢者医療負担増凍結など、私達は12の議員立法を提出して成立させようと頑張っています。ところが、ここで、防衛省の接待疑惑が浮上しました。官僚と山田洋行のような防衛関係商社との癒着がとんでもない税金の無駄遣いにつながっている。8割にも及ぶ随意契約によって調達をする防衛省の体質の根源に守屋元事務次官の接待疑惑がある。証人喚問して真相究明をやろうと言うことで、与党と対立しました。このせめぎあい、アツと言う間に二週間が過ぎてしまい、他の重要法案が参議院に山積みです。

福田総理は、さすがに焦りを感じているのだと思います。月曜日に突然、小沢代表に直接会いたいと連絡が来て、翌日の火曜日には、小沢さんとの党首会談が実現しました。何が話し合われたか憶測が飛んでいます。小沢さん本人の説明では、「福田さんとお

会いしたのは、これが初めて。お父さんの赳夫さんとは昵懇だったから、昔話に花がさいた。テロ特措法の話が出たが、基本は譲れないから物別れ。マスコミは、解散の時期とか、大連立の話が進んでいるのではとか、うわさをしているが、そのような話は一切なかった。今週末にまた会う約束で別れたが、全体として、何が目的だったのか、私にも分からない。ただ、ご本人は、思うように進まない国会運営にはホトホト困っておられる様子だと感じ取れた。」要約すると以上です。しかし、2日の金曜日にはもう一度会うことになっていると言われれば、説明を聞いた私たちでも、小沢さんの本音がどこにあるのか分からない、疑心暗鬼といったところです。

○道路建設は大事、しかし・・・

この時期、来年度の予算に向けて、お客さんが絶えません。一番多いのは、道路特定財源の維持に向けた働きかけです。私たちの車にかかる重量税やガソリン税などは、道路建設にのみ使われる建前で、しかも、通常の税率の2倍を毎年の特別法で決めています。道路建設に対する地域要望は日本中どこでも大変なものです。私は、国が個別の道路建設の優先順位を決めるのではなくて、身近な県や市で決定できるように、他の補助金も合わせて一律の配分基準で地方自治体に一括交付をすべきだと言っています。地域格差を解消する意味でも予算の少ない自治体に多く配分する基準を作ればいいのです。具体的な法案を用意します。

中央省庁は、県や市町村を動員して、毎年、東京に集め、決起集会やら陳情などを繰り返す段取りをします。私たちから見ると役所の権益を守るために、立場の弱い知事や市長さんに「ヤラセの陳情合戦」を演出していると映ります。税金の無駄遣いをなくすためにも、「権限と財源を自分たちによこせ。」と国に対して挑戦してくれる元気な知事や市長さんが現れれば、本当の地方分権が進みます。そんな、首長さんと是非連携をして、真の地方分権を進めたいと思います。

○年末年始の行事、お知らせ下さい！

年末年始の行事、お知らせ下さい。ご連絡は三重事務所（電話）059-373-3933 まで。